

共に歩まん

～子供も大人も学び続ける社会に向かって～

令和7年10月6日発行

第13号

中信教育事務所

←過去の「マナビ通信」はこちら

過去の
「共に歩まん」は
こちら→



学校改革支援訪問 メニューA「探究の学び」

松本東部6校（筑摩小、中山小、清水小、源池小、並柳小、山辺小） による、横のつながりを意識した学校改革の取組

松本東部6校では、学校をまたいだ合同研修会、授業参観等を通して、各学校の先生方がつながるとともに、互いに刺激し合い、学び合って学校改革に取り組んでいます。

6校の研究主任、特別支援コーディネーターによる合同研修会 第1回 筑摩小学校会場（5月23日）



グループに分かれてワークショップ



付せんを使ってアイデアを交換

先生同士の横のつながりを作ること、「明日ちょっとやってみようかな」を持ち帰ることを目的に、各校の目指す学校・子供像や、現在の取組、今後の見通し等について語り合いました。また、6校の取組や今後の見通しを共有するチャットグループを立ち上げました。

「総合的な学習の時間」授業公開と合同研修会

第2回 中山小学校会場（7月14日）

授業



似た情報をまとめていくYさんと色分けしていくHさん
見通しをもって整理・分析する姿

授業公開6年「行事創造プロジェクト～フェスを楽しくする内容を考えよう～」

「中山っ子フェス」で開催する全校交流レクを企画するグループは、「全校のみんなが楽しんでもらえるレクにしたい」という願いに向かい、様々な年齢層から「好きな遊び」について情報を集めることにしました。活動に移ると、参観に来た先生方にインタビューをして情報を集め、集めた情報を色分けしたり、まとめたりして整理・分析していきました。「私、人見知りなんだよね…」とこぼしながらも、10名を超える先生方に質問して回ったSさん。集まった情報を吟味しながら、色を塗って分類していく方法を見出し、黙々と進めるHさん。各々が願いに向かって主体的に取り組む、充実した1時間でした。

研修会「子供たちの姿から探究的な学習を語り合おう」

授業を通して見えた「子供たちの探究する姿」を、付せんを書いて語り合うことを通して、「探究的な学習」について整理していきました。同時に、職員で対話しながら進める研修会のあり方についても学ぶ時間となりました。

【先生方の振り返り】

- ・身近なテーマ、楽しい行事から目標を設定したことで、子供が意欲的に活動できたと感じました。また、毎回の流れが「調査、整理、計画」となっていて、子供が見通しをもって進めていたのが印象的でした。
- ・子供が自ら動き出すためには、その時間に何をやるかだけでなく、見通しのある問いや課題が必要だと改めて分かりました。本校でも、切り口は違っても目指すところは同じなので、課題をどうもたせていくか、という視点を授業改善に生かしていきたいと思います。

研修会



先生方も出し合った付せんを整理・分析し、「探究的な学習」について考えを深めていく

学校間の垣根を越えた取組が、先生方の主体性と探究心につながっています。先生方が得た学びは、きっと各校での子供の成長に還元されていくことでしょう。松本東部6校による学校改革への挑戦は、これからも続きます。

なお、「探究的な学習」については、長野県教育委員会発行の「令和7年度教育課程編成・学習指導の基本」（通称 青本）P3、4にも掲載されています。右の二次元コードからcheck!



青本

